

令和6年第3回
組合議会定例会議事録

招 集 日 令和6年8月22日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

令和6年第3回 組合議会定例会議事録

招 集 日 令和6年8月22日（木）

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1 出席議員（10人）

1 番 大 野 祐 司

2 番 澤 井 慧

3 番 松 野 英 夫

4 番 丸 田 絵 美

5 番 宮 本 和 実

6 番 大 倉 あき子

7 番 谷 口 敏 也

8 番 野 村 羊 子

9 番 土 屋 けんいち

10番 大 城 美 幸

2 欠席議員（0人）

3 出席説明員

管 理 者	河 村 孝	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	馬男木 賢 一	参 与	今 井 隆 司
事 務 局 長	荻 原 正 樹	事 務 局 次 長	上 野 洋 樹
総 務 課 長	鷹 林 勝	施 設 課 長	澤 田 忍
施 設 課 長 補 佐	山 賀 則 夫	総 務 主 幹	垣 花 満
総 務 主 幹	田 波 利 明	清 掃 主 幹	仲 雅 広
清 掃 主 幹	三ツ木 吉 和	人 事 主 幹	田 中 博 文
文 書 主 幹	富 永 幹 雄	財 務 主 幹	伊 藤 恵 三
契 約 主 幹	立 花 省 二	会 計 管 理 者	荒 川 浩 一
監 査 事 務 局 長	古 園 純 一	出 納 主 幹	

午前 9 時 58 分開会

○議長（大野祐司君） おはようございます。これより令和 6 年第 3 回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

日程第 1 会期の決定

○議長（大野祐司君） 日程第 1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日 1 日といたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日 1 日とすることに決定いたしました。

日程第 2 会議録署名議員の指名

○議長（大野祐司君） 続きまして、日程第 2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 36 条の規定により、4 番丸田絵美議員及び 10 番大城美幸議員を指名いたします。

日程第 3 管理者報告

○議長（大野祐司君） 日程第 3、管理者報告に入ります。

それでは、河村管理者、お願いいたします。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 皆さん、おはようございます。議員の皆様におかれましては、両市の定例議会を控えまして何かとお忙しい時期だと思いますが、令和 6 年第 3 回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、恐縮に存じております。

それでは、早速、管理者報告に入らせていただきます。

本日、ご報告申し上げる事項は 5 件でございます。

まず、報告の第 1 でございますが、1 件目は、ごみ処理実績についてでございます。

なお、重量につきましては、今までどおり小数点以下を四捨五入いたしましてご報告させていただきます。ご了承ください。

初めに、資料 1 をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和6年4月から6月までの処理実績でございます。この3か月の総搬入量は1万9,292トンでございまして、前年度と比較いたしますと344トン、1.8%の増となっております。その内訳といたしまして、三鷹市が7,349トンで構成比44.6%、前年度比21トン、0.3%の増、調布市が9,141トンで構成比55.4%、前年度比36トン、0.4%の減となっております。また、リサイクルセンターにおきます処理後の可燃性残渣の搬入につきましては1,777トンで、前年度比118トン、7.1%増となっております。そのほか、広域支援に伴いまして、小平市のごみを1,025トン受け入れております。

次に、資料2をご覧ください。

リサイクルセンターの令和6年4月から6月までの処理実績でございます。この3か月の総搬入量は4,341トンでございまして、前年度と比較いたしますと8トン、0.2%の減となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が2,106トンで構成比48.5%、前年度比40トン、1.9%の減、調布市が2,235トンで構成比51.5%、前年度比32トン、1.5%の増となっております。

ご報告の第2件目が、視察・見学の状況についてでございます。

資料4をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和6年4月から6月までの3か月間、視察・見学者数でございます。この3か月間の見学者数は25団体、2,362人でございました。昨年度と比較いたしますと、団体数は2団体減りましたが、人数は120人の増となっております。また、表の欄外でございますが、6月8日に煙突登り見学会を開催しまして、34人の皆様にご参加いただきました。今後とも両市の児童生徒及び、市民の皆様に向けた環境学習・啓発活動に取り組みまして、その増を目指していきます。

続きまして、ご報告の第3件目でございます。地元協議会等についてでございます。

地元協議会につきましては、5月24日に第81回、7月26日に第82回の地元協議会を開催しております。ごみ処理実績や環境測定結果を報告するとともに、リサイクルセンターの更新に係る主なスケジュール及び東棟・北棟改造工事に伴います生活環境影響調査について説明を行いました。また、6月21日に施設見学会を実施いたしまして、町田市バイオエネルギーセンターを見学いたしました。

なお、次の会議は11月22日に開催を予定しております。

安全衛生専門委員会につきましては、7月2日に第26回の安全衛生専門委員会を開催しております。地元協議会同様、ごみ処理実績あるいは環境測定結果などをご報告するとと

もに、リサイクルセンター更新に係る主なスケジュール及び東棟・北棟改装工事に伴う生活環境影響調査について説明を行いました。

なお、安全衛生専門委員会につきましては、原則年1回の開催であるため、次回の会議は来年度となる見込みでございます。

ご報告の第4件目は、ふじまつりについてでございます。12回目を迎えますふじまつりにつきましては、来る11月17日曜日、午前10時から開催する予定でございます。地元協議会委員をはじめとする有志の皆様及びふじみ衛生組合職員によりまして実行委員会を組織し、検討を進めているところでございます。当日は、三鷹市、調布市はじめとして、近隣大学や関連事業者のご協力の下、企画、運営に当たることとしております。多くの皆様の来場が予定されておりますので、無事故で楽しんでいただきますよう、万全の準備を整えてまいります。組合議員の皆様におかれましても、ぜひご来場していただけるようお願い申し上げます。

ご報告の第5件目、リサイクルセンターの更新についてでございます。

初めに、資料の5-1をご覧ください。

東棟・北棟改造工事につきましては、8月から東棟の改造工事に着手いたしました。これに伴いまして、プラスチックにつきましては、焼却による熱回収処理に移行いたしております。

続きまして、資料の5-2をご覧ください。

東棟・北棟改造工事に関する生活環境影響調査書の縦覧を5月21日から6月25日まで行いました。また、調査書に対する意見書の提出期限は7月10日まででございましたが、意見書の提出はございませんでした。

なお、縦覧に併せまして、5月31日及び6月1日に説明会を開催いたしました。参加者は5月31日が4人、6月1日が3人でございました。

資料5-1にお戻りください。

続きまして、土壌汚染調査につきましては、現在、地歴調査を行っているところでございます。

次に、中央棟解体工事につきましては、6月28日に入札公告を行い、7月24日に落札者が決定いたしました。

なお、本工事につきましては、議会の議決に付すべき契約となります。後ほど議案として提出させていただきますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、(仮称)新リサイクルセンターの事業者選定につきましては、入札書類の提出期限が8月26日までとなっております。

最後に、(仮称)新リサイクルセンターに関する生活環境影響調査書の縦覧につきましては、10月下旬を予定しております。日程が決まりましたら、ご報告させていただきます。

私からのご報告は以上でございます。

なお、ごみ処理実績につきましては、事務局長より補足説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長(大野祐司君) 荻原事務局長。

○事務局長(荻原正樹君) おはようございます。

私からは、管理者報告のうち、ごみ処理実績につきまして補足をさせていただきます。

管理者からの報告と同様、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告をさせていただきます。

資料1をご覧ください。

クリーンプラザふじみの令和6年4月から6月までの3か月間の状況でございます。搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で1.8%の増となりました。内訳を見ますと、三鷹市、調布市ともに、1の委託収集、いわゆる家庭系ごみが減少傾向であり、3の持込み、いわゆる事業系ごみが事業活動の回復に伴って増加傾向となっております。

なお、この3か月間で1万3,895トン焼却処理いたしまして、熱回収による発電では、電力事業者に4,660メガワットアワーを7,100万円余で売却いたしました。また、処理に伴う焼却灰等1,613トンにつきまして、エコセメント化施設等に搬出いたしました。

続きまして、資料2をご覧ください。

リサイクルセンターの令和6年4月から6月までの3か月間の状況でございます。搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で0.2%の減となりました。

次に、搬出実績でございます。搬出実績につきましては、まず、左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は、前年度と比べ26トン、1.2%の増となっております。搬入量の減少に伴いまして、全体的に減少傾向でございますが、16番の廃小型家電が昨年の10月から有償で売却することができるようになり、120トンの増となったことから、全体としては1.2%の増となりました。

続きまして、右側の逆有償の資源物等搬出の欄をご覧ください。水銀を含む有害廃棄物

につきましては、逆有償での処分となっています。その下、残渣搬出でございますが、プラスチック類を含む可燃性残渣1,777トンにつきましては、クリーンプラザふじみにおいて全て焼却処理し、熱回収いたしました。

続きまして、資料3をご覧ください。

有価物品等の価格の推移でございます。令和6年第2回定例会後の状況につきまして、ご説明申し上げます。

7月1日以降の有価物売却に係る単価の競争入札を6月13日に実施いたしました。その結果、鉄類につきましては、3番の特A鉄及び4番のA鉄が300円、0.5%の下落となりました。また、アルミ類につきましては、6番の特アルミが7万5,000円、30.5%の上昇、7番のアルミが2万6,220円、13.4%の上昇となりました。

金属資源市場は、引き続き高値圏で横ばいの状況が続いています。今後とも、市況を見ながら適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

私からのご報告は以上でございます。

○議長（大野祐司君） 管理者からの報告は以上でございます。ただいまの管理者の報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。野村議員。

○8番（野村羊子君） それでは、幾つか質問させていただきます。

1つは、まず、ごみ処理実績です。資料1で、売電量が昨年度の実績よりも低い状態ですけど、これは焼却量が少ないということなのか、あと、売電単価もかなり違うように思いますが、この辺の詳細をもう一度教えてください。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、売電の状況でございますけれども、資料右側の参考のとおり、この4月から6月の3か月間につきましては、焼却量そのものが、1,082.96トン減っておりますので、それに伴いまして、売電量も昨年度と比べますと低くなっているというような状況でございます。

一方で、単価につきましてはかなり下がっておりまして、昨年度ですと18円、19円ぐらいの単価が今12円、13円というような単価でございますので、売電量の減に比べますと、売電金額の減のほうがさらに大きくなっているというような状況でございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 売電金額が運営費に当たっていくというふうなこともたしかあったと思うので、その辺り、その金額の多寡によってまた今後の予算なりに絡んでくる可

能性があるので、きちっと注視していきたい、あるいはちゃんとご報告を続けてほしいと思います。

それと、資料2のほうで、残渣について熱回収の量が増えています。だから、全体の焼却量は減っているけども、熱回収量は増えているということで、これはペットボトルの関係とかプラスチックを焼却するとか、そのようなりサイクルセンター建て替えに伴う関係があるのでしょうか、確認いたします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 今回ご報告申し上げております期間でございますが、令和6年の4月から6月までの3か月間でございますので、この時点ではまだプラスチックの焼却は始まっておりません。したがって、これはリサイクルできなかった、例えば汚れてリサイクルできない、そういったプラスチックが手選別で弾かれまして焼却施設に入った量でございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 本来であれば、プラスチックをきちっとリサイクルしていくということが重要ですし、ちゃんと分別する、きれいに回収できるようなことを市民の皆さんにお願いすることが必要だと思います。ただ、これから先しばらく全量焼却みたいな話になると、その辺がおろそかになっちゃいけないと思います。分別収集は変わらずに行う予定だというふうになっていたと思いますので、その辺り、市民の皆さんの意識が変わらないように、ふじみから両市に対してよく要請をしておくことが必要だと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 工事に伴いまして、プラスチックの焼却熱回収が始まります。3年から4年ですけれども、この期間で、市民の分別意識が低下しては困りますので、収集方法、分別方法は以前と変わらず、プラスチックの日を設けまして、意識の啓発に努めてまいります。

その結果でございますが、統計上は、今後もプラスチックの量という形で報告させていただきますので、プラスチックの収集量が減っていなければ、市民の意識は引き続き高いものだというふうに判断していただければと思っております。よろしくお願いします。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） ありがとうございます。

それでは、資料5のリサイクルセンター更新に係るスケジュールで、この後の議案で質問したほうがいいのかちょっと分からないんですが、中央棟解体工事の入札結果、議案になっていますけども、実際にふじみ衛生組合のホームページで入札結果というのがまだ掲載されていないように思うんですが、これは何らかのルールがあるのでしょうか、確認したいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 基本的には、ふじみ衛生組合のホームページにこの入札のページがございますので、定期的にデータのほうは更新しております。もし、入札結果が載っていないようでしたら、こちらのほうでページの更新をかけまして、入札結果については、広く市民の皆様に知らせるようにいたします。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） その辺のルールが、今、7月24日落札だというふうにおっしゃってました。1か月近くたって、結果が掲載していないのはどうなのかなと。その辺のあたりのルール化をきちっとして、期限、できるだけ速やかにというふうなことを努力していただきたいと思います。

私からは以上です。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。大城議員。

○10番（大城美幸君） 初めに、資料5－2なんですが、生活環境影響調査書縦覧の意見書が、提出がゼロということで、このことを問題ないからいいというふうに捉えるのか、周知がどうであって、この数値を組合としてどう見ているのかということ。それと、市民説明会の参加者も4人、3人ということで、対象者数からして、この人数がどうなのか、少ないんじゃないかと思っているんですが、先ほど協議会でも説明をしているという話があったので、周辺の方々への周知は十分だというふうに考えていいのかどうかを、まず伺います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 環境影響評価書の縦覧及び市民説明会の開催につきましては、両市の広報に掲載するとともに、ふじみ衛生組合のホームページ等にも掲載して周知に努めているところでございます。

また、直接関係のある地元の皆様には、今お話がございましたとおり、地元協議会でも報告させていただきましたし、また、三調だよりといたしまして、敷地境界からおおむね

500メートルの範囲の皆様には個別にポスティングもさせていただいたところでございます。確かに件数が少ないというご指摘はそのとおりでございます。焼却施設、クリーンプラザふじみのときには、それこそ説明会を開くと100人とかいらっしやった記憶がございますけれども、それだけ、今回の施設につきましては、市民の皆様の信頼を得ているのかなというふうには考えているところでございます。

○議長（大野祐司君）　大城議員。

○10番（大城美幸君）　信頼を得ているということについては、そうかどうかというのは、今後のことを見極めて私も判断しなきゃいけないなと思っています。地元協議会で説明をしたということが、周辺の町会等の人たちに全て伝わっているかということが、私はちょっと疑問に思うところがあるので、やはり広報やホームページ、配布物も、新聞のごみと一緒に捨てられることもあるし、高齢者だとホームページなどを見るということとはなかなか難しいと思うので、個別配布もしたとは言いましたが、よりよい周知の仕方というのは、もっと研究して、なるべく漏れがないように周知をし、丁寧な対応をお願いしたいと思います。

資料5－1のスケジュールなんですが、次の議案との関係もあるんですが、東棟・北棟の工事着手、東側はもう既に8月着手、10月スタート、12月に竣工して初めて解体工事、中央棟の解体工事に入れるわけですが、これが今、物価高騰、資材高騰、資材不足や人手不足ということとか、様々な悪条件が重なると、このスケジュールが本当に12月竣工になるのかという懸念も持っているんですが、その辺はいかがかということ。もう一つは、新リサイクルセンターの入札書類提出は、管理者が先ほど26日提出期限と報告されました。これが、間もなく提出期限で、もう既に提出されている方も、会社もあるかと思いますが、1社だけということにはなっていないのかだけでも、ご報告いただければと思います。

それともう一つ、新リサイクルセンターの下縦覧意見書提出がありますが、先ほど言ったように、この点については、周知の方法等を、もう少し検討いただければと思っています。これは意見です。

○議長（大野祐司君）　荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君）　まず1点目の、スケジュールの関係についてご説明をさせていただきます。

東棟・北棟改造工事につきましては、現在予定どおり8月に東棟の工事に着手いたしまして、10月に北棟の工事に着手する予定でございまして、12月の竣工、これはほぼ間違い

なくできるというふうに考えております。

また、中央棟の解体工事でございますけれども、東棟・北棟の改造工事が終わりませんと引っ越しができませんので、中央棟を解体することできません。ただ、今申し上げましたとおり、東棟・北棟の改造工事が今のところ順調に進んでおりますので、引っ越しも順調に終わって、予定どおり1月から解体工事に着手できるのではないかというふうにスケジュール的には思っているところでございます。

もう一つの新リサイクルセンターの事業者選定の関係でございますけれども、今現在の状況ということでございますが、現在、入札の最中でございますので、大変申し訳ございませんが、その点について、今日は答弁を控えさせていただきたいと思います。

なお、8月26日の17時が締切りとなっておりますので、締切り終了後、速やかに、その結果につきましては、議員の皆様にご報告をさせていただきたいというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） 大城議員。

○10番（大城美幸君） 分かりました。確認します。東棟工事着手は、もう既に着手ということでしょうか。新リサイクルセンターのほうは、26日の17時締切りをもって、その結果は、私どもの議員のほうにも、議会ではなく情報提供をしていただけたということを確認したいと思いますが、いかがでしょうか。もう一度お願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、東棟・北棟の改造工事ですが、8月に着手しているということでしょうかという再度のご質問でございますが、東棟・北棟の工事は、今、着手しております。したがって、現在、不燃ごみは全て中央棟のほうで処理をして、今日、もしよろしければ、お帰りの際にでものぞいていただきたいと思います。東棟は今何も入っていないような状況でございますが、この後、東棟のほうに新しい設備が導入されるというようなスケジュールでございます。

それからもう1点の再質問でございますが、新リサイクルセンターの事業者選定でございますが、議員さんがおっしゃっていただいたとおり、8月26日、17時をもちまして結果が出ます。スピード感も必要と思いますので、文書でも当然ご案内させていただきますけれども、それよりも早い形で、例えば常日頃からショートメールで情報のやり取りさせていただいておりますので、そういった形も含めまして、情報提供させていただきたいというふうに思います。

○10番（大城美幸君） 了解です。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございますか。谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 今の大城議員の再質問なんですけど、何社来ているのかというのも内緒。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 申し訳ございませんけれども、その点も含めまして、本日現在ではちょっとお答えは控えさせていただきます。申し訳ございません。

○議長（大野祐司君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 分かりました。

もう一つの質問も野村議員の再質問になるんですけど、私も常々売電価格で注目していて、市民の人に言うと、すごいねというような反響があるんでチェックしているんですけど、先ほどの答弁ですと、単価も去年より下がっていると。確かに、一昨年と比べると去年はすごい上がっていて、今現在、我々の家庭用の電力も上がっているから、当然また上がるのかなと思ったらここで下がっているから、我々の電気代が高くなっているのに売電価格が下がっているのかどうかと聞きたいのが1つと、あと、以前、私も前期もこの議員やらせていただいたんですけど、局長が長期間の契約をして成功したときと失敗したときという話があったじゃないですか。今回見ると、去年、一昨年と単価も違っているような気がする、もう長期はやめて毎年の契約になったんだっけ。その確認をしておきます。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず売電でございますけれども、今まで2つのやり方をしています、1つは、1年間単価を固定しまして、それで買い取っていただくという方向です。それからもう一つは、毎月の変動に合わせて買い取っていただくという方法でございます。昨年度は、非常に高かったのも、あえて年間固定しまして、一番高い値段で1年間売却できたので、非常に売電金額も上がったということでございます。

令和6年度につきましては、原油価格がかなり下がってきたというようなこともあります。すぐに反映されるわけではなくて、原油価格が提示されてから半年とか1年後に売電金額のほうにも影響してくるということがございまして、原油価格が下がっている中で、今年については、電力事業者さんがかなり単価を下げてきたんです。ですので、この単価で1年間契約してしまいますと、この後上がったときにちょっともったいないという部分もありますので、今年は毎月変動の契約にいたしましたので、その月々によって単価は変

わってまいります。

ただし、昨年度の非常に高い1年間の契約というのと比べますと、どうしても努力をしても、単価は昨年度と比べますと、今年度のほうは下がっているというような状況です。

○7番（谷口敏也君） 分かりました。いいです。

○議長（大野祐司君） ほかに。大倉議員。

○6番（大倉あき子君） 大倉です。よろしくお願いします。

ごみ処理実績で委託収集なんですけれども、家庭系ごみが減少されているということで、これはどのようなことで減少したのかということ进行分析されているのかということと、あとのうちの食品ロスが課題になっているかと思うんですけれども、このうち食品ロスがどのくらいあるのかということが把握されているのかお伺いをしたいと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、家庭系ごみの減要因の分析ということでございますが、基本的には市民の意識の高まりがずっと続いている中で、1つ考えられますのが、ごみそのものの軽量化が進んでいるというのが1つあるかなと思っています。ちょっと可燃ごみとは話が違いますけれども、1つの例で申し上げます。ペットボトル、昔は結構1本1本が重かったと思うんですけど、今のペットボトルは、非常に薄くなっています。ですので、ごみの量というのは、どうしても重量で出しますので、体積的に減っているかどうかというところまでは分からないんです。したがって、ごみそのものが軽くなっている中で、市民の意識が引き続き高止まりしているというようなことで、家庭系のごみについては減少傾向が続いているのかなというふうに思っているところでございます。

それから、食品ロスなんですけれども、ごみ検査は時々やっているんです。ただ、あくまでもそれは、本来可燃ごみに入ってはいけないごみが入っていないかということで、可燃ごみの中に資源として使えるようなペットボトルや瓶缶などが入っていないかという検査はしているんですが、食品ロスというので検査をしたことは、過去に1回しかないんです。そのときに、確かに食品ロスは結構ありました。基本的には、スーパー等で多分出されたのかもしれませんが、賞味期限が切れてしまったということで、事業系ごみとしてこちらに持ち込まれるケースがあります。ただ、食品ロスに特化して定期的に検査はしていませんので、全体でどのくらいの食品ロスになっているのかというのは、ちょっと把握していないところです。

一方で、重量ベースで申し上げますけれども、厨芥ごみ、生ごみ自体はふじみ衛生組合

は非常に少なく、10%を切るような状況でございますので、そういう点では、今後も生ごみの推移を見ていく中で、できれば、食品ロスについても引き続き調査を行っていききたいというふうに思っています。

○議長（大野祐司君）　大倉議員。

○6番（大倉あき子君）　分かりました。ぜひ、そういった調査も試みて、どのぐらい削減されているのか、どうなっているのか、状況を調べていただけたらと思います。

それともう1点なんですけれども、リサイクルセンターの工事に伴って、プラごみとか、また一部のペットボトルを自主回収されるということで、今、店頭回収の呼びかけを広報とかでされていると思うんですけれども、これは店頭回収されている事業者さんとかのご理解を得ているという認識でよろしいでしょうか。

○議長（大野祐司君）　荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君）　店頭回収をしていただいている事業者さん、例えば三鷹市や調布市リサイクル協力店という形で、三鷹市、調布市と連携しながら集めておりますので、十分ご理解いただけるというふうに判断をしています。

○議長（大野祐司君）　大倉議員。

○6番（大倉あき子君）　分かりました。ありがとうございます。

それと、クリーンプラザふじみの視察・見学者のことでお伺いします。オンラインによる視察・見学が1件あったということで、これは調布、三鷹市内の小学校だったのでしょうか。

○議長（大野祐司君）　荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君）　これにつきましては、三鷹の三小でございます。この期間には載っていないんですが、その後、三鷹の高山小もオンライン見学になりました。高山小については、当初はこちらに来る予定だったんですが、あまりにも日差しが強くて熱中症になってしまうかもしれないので、オンライン見学に切り替えてほしいということで、急遽、オンライン見学に切り替えたというようなことでございます。

○議長（大野祐司君）　大倉議員。

○6番（大倉あき子君）　分かりました。ありがとうございます。

ということは、オンライン用に何か映像が用意されているとか、そういうことではなく、本当にリアルタイムでどなたかがご案内しながら映像を放映されているという。

○議長（大野祐司君）　荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） そのとおりでございます。

○6番（大倉あき子君） はい、分かりました。

○議長（大野祐司君） 丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ご説明ありがとうございます。

資料1について、聞き逃していたら申し訳ないんですけど、ボランティアがずっとこの4月からゼロなんですけども、ボランティアの活動がないから搬入がないということなのか、それを確認したいというのが一つ。

あと、2つ目は、小平市が令和5年と令和6年で大幅増量しているんですけども、これは委託収集の範囲が広がっているのか、調布への分配率が変わっているのか、その辺をちょっと細かく教えていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず1点目のボランティアごみでございますけれども、ボランティアの方が直接こちらに持ってくるということであればここに数字が載るんですが、三鷹市も調布市も、ボランティアのごみというのは、基本的には市の直営で取ってしまっているというようなケースが多いのと、もう一つは、ボランティアの専用袋というのがあって、その専用袋を使えば、わざわざこちらに持ってこなくても済むというようなことがございますので、統計上は、数値が0となっております。

それから2点目、小平市のごみでございますけれども、たまたまこの4月から6月の期間が多かったということで、特に範囲を変えたとかいうことはございません。あくまでも同じところから持ってきておりまして、年間を通じて上限が定められておりますので、その上限の範囲内で、小平市の考え方で、今月は持っていこうとか、来月はやめておこうとか、そういった形で、年間を通じて、小平市の計画に基づいて搬入されているものでございます。

○議長（大野祐司君） 丸田議員。

○4番（丸田絵美君） ご説明ありがとうございます。

そうすると、ボランティアの搬入実績の枠というのは、今はほとんど生きていないということでご検討いただけたらなと思います。小平市に関しては、市のほうで調整をして、それでこちらに搬入するという事で理解をしました。ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） 澤井議員。

○2番（澤井慧君） ご説明ありがとうございました。

1点、資料3の部分なんですけれども、8と9、小型家電系の価格が、この半年間で、取引価格が大幅に下落をしていると思うんですけれども、都市鉱山と言われるレアメタルを含めて、貴重な資源だと思うんですが、この半年間での取引価格の下落というのはどのように分析されていて、現状、教えてほしいなと思います。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 小型家電でございますけれども、携帯電話、パソコンのように、ほとんどが基盤でできているもの、これについては非常に高く買い取っていただけるんですが、ほかの小型家電、例えば掃除機ですとか、そういったものについては、基盤の量よりもその周りのプラスチックの量が非常に大きなウエートを占めています。今、プラスチックの処理費用が上がっておりまして、結局、売却できる金属の金額からプラスチックの処理費用を引いたものが売却単価になるわけです。したがって、今、プラスチックの処理費用がどんどん上がっている中で、今後も、小型家電、特にプラスチックがたくさんついているような小型家電については、高値での売却は難しいかなというふうに思っているところです。

○2番（澤井慧君） 大丈夫です。ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑。松野議員。

○3番（松野英夫君） ご説明ありがとうございます。

私からは、5－2の資料の中の市民説明会についてお伺いします。なかなか市民説明会、周知等々をされているのも存じているんですけど、ここまで来るのは、調布市民からするとちょっと大変な部分もたくさんあるかなと思うんです。その点も踏まえて、今後、市民説明会のオンライン化というのは検討しているのかどうかお伺いいたします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 本体工事となりますと、やはり市民の皆さんの関心がさらに高くなると思いますので、そういった手法も含めまして検討させていただきたいというふうに思います。

○議長（大野祐司君） 松野議員。

○3番（松野英夫君） ありがとうございます。ぜひ検討していただければと思います。よろしくお願いいたします。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑はございませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） では、以上で質疑を打ち切ります。

以上5件は報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いします。

日程第4 議案第10号 ふじみ衛生組合リサイクルセンター中央棟
解体工事請負契約の締結について

○議長（大野祐司君） 次に、日程第4、議案第10号、ふじみ衛生組合リサイクルセンター中央棟解体工事請負契約の締結についてを議題といたします。

事務局に提案の朗読をさせます。

（事務局朗読）

○議長（大野祐司君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 議案第10号、ふじみ衛生組合リサイクルセンター中央棟解体工事請負契約の締結につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

本件は、リサイクルセンター中央棟解体工事の施工に当たりまして、工事請負契約を締結するものでございます。契約の方法は制限付一般競争入札で、契約の金額は消費税を含めまして4億6,200万円、契約の相手方は株式会社丸利根アペックスです。

なお、事務局長から補足説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

提案理由の説明は以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 議案第10号、ふじみ衛生組合リサイクルセンター中央棟解体工事請負契約の締結につきまして、補足説明をさせていただきます。

資料4枚目にあります、参考資料の工事概要をご覧ください。

工事の場所は、調布市深大寺東町7丁目50番地30で、このふじみ衛生組合の敷地内です。

次に、工事の内容です。リサイクルセンターの更新に当たり、現在のリサイクルセンター中央棟の解体工事を行うもので、このほか、リサイクルセンター北棟のスラブ・基礎などの一部撤去工事を行うものです。工期は、契約締結の翌日から令和7年9月30日までで

す。

契約後の予定ですが、来年1月に解体工事に着手し、同年9月末までの工事完了を見込んでおります。

私からの説明は以上でございます。

○議長（大野祐司君） これより質疑に入ります。質疑はございますか。野村議員。

○8番（野村羊子君） それでは、幾つか質問させていただきます。

まず最初に、この今回の制限付一般競争入札ですけれども、入札要件、市内要件としていますが、実際に何社入札があったのか、そして今回の入札の予定価格と最低制限価格を教えてくださいと思います。お願いします。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、要件でございますが、三鷹市または調布市に事務所があるというような市内要件を今回は設けておりまして、その対象事業者は、たしか13社だったと思います。実際に入札に参加いただいたのは、落札者である丸利根アペックス1社のみでございました。

それから、予定価格でございますけれども、4億7,762万円でございます。最低制限価格につきましては3億8,214万円でございます。

以上です。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 13社中1社しか、そういう意味では競争にならなかったというふうなことはあります。価格的には、予定価格の中に入っていて、最低制限価格も上回っているんで、このままというふうなことは理解をいたしますけれども、1社しか入札がなかったということについては、何らか理由等を推察はしているのでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 現在、建設に関しまして厳しい状況が続いております。解体の場合には、建設に比べますと、資材の高騰等の部分は少ないんですが、やはり機器のレンタル料、それから人の人件費、そういったものが上がっている中で、この予定価格の中で入札に参加できたのはこの1社だったというふうに分析をしているところです。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 先ほどの質疑もちょっとありましたけれども、実際に工事を着手するのは1月の予定だということで、人手の確保の在り方というのも、ある意味では

見通しながら、自社の様々なほかの工事との兼ね合いも見通しながらやらなくちゃいけないというところですよ。そうであるならば、例えば、もう少し先の入札、今この時点ではなくて、9月、10月あたりの入札ということも考えられたのではないかと思うんですが、なぜこの時期だったのかを確認します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） この時期に入札を実施した理由でございますが、やはり解体工事とはいえ、非常に準備に時間がかかります。今おっしゃっていただいた人の手配の問題もそうですけれども、準備に時間がかかるような状況でございまして、解体の進め方をまず設計いたしまして、それから実際にどのぐらいの人を手配してというような一連の準備がやはり必要になりますので、できるだけ早く入札を進めたかったというのが理由でございます。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 理由としては分かりました。解体工事、実際には基礎杭まで含めての解体なので、かなり深く掘るというふうなことも含めて、作業が大がかりになるものと思いますが、大型車両の工事車両などの出入りとか、その辺りのことは、ほかの日常の搬入との関係とかというあたりの調整というのは、今後、きちっとやっていくというふうなことで、それは入札、契約の中でそういうことをきちっと確認をしていくということでしょうか。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 工事期間中も他の搬入車両等ございますので、工事区域とその他の区域をしっかりと仮囲い、3メートルの仮囲い付けますけれども、しっかり区分をするということで、決して車両同士が交差しないというふうな、安全第一で作業のほうは進めていくように仕様書にも書かれておりますし、その仕様書に基づいてしっかりやっていただくということで、工事中の事故がないようにしたいというふうに考えております。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） すいません、価格の件で、今後の資材高騰、物価高騰等々、あるいは最低賃金がまた上がるような話もありますので、それらに関連して、この先、契約金額を変えていく、上げていくとか、そういうようなことはあり得るのか、その辺は契約の中に入っているのか確認します。

○議長（大野祐司君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 今回の解体工事につきましては、工期がそれほど長くない
ということですので、物価スライド条項は設けておりませんし、その適用もございません。

○議長（大野祐司君） 野村議員。

○8番（野村羊子君） 分かりました。そうすると、この金額でとにかくやりくりをし
なくてはいけないというふうな中で、事業者が入札するか否かを検討したということす
ね。その結果、1社だったという事実関係は分かりました。ありがとうございます。

○議長（大野祐司君） ほかに質疑ございませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） 以上で質疑を打切り、討論を省略して採決したいと思います。
これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（大野祐司君） ご異議なしと認め、これより採決いたします。

議案第10号、ふじみ衛生組合リサイクルセンター中央棟解体工事請負契約の締結につい
て、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（大野祐司君） 満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されま
した。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、これで会議を閉じます。

これにて、令和6年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。本日はお疲れ
さまでした。ありがとうございました。

午前10時52分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためにここに署名する。

令和6年8月22日

ふじみ衛生組合議会議長

大野 裕司

ふじみ衛生組合議員4番

丸田 絵美

ふじみ衛生組合議員10番

大城 美幸

